

社会実装に向けた戦略に係るワーキンググループの設置について

令和5年6月29日

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

1. 目的

「戦略的イノベーション創造プログラム運用指針」（ガバニングボード 令和4年12月23日最終改正）に基づき、P D間でのベストプラクティスの共有や課題間での連携を促進するため、ガバニングボードの下に、全てのP Dで構成するP D会議を設置した。

また、P D会議のもとに、課題間の検討事項として、社会実装に向けた戦略に係る具体的な内容を議論するため、「社会実装に向けた戦略に係るワーキンググループ」（以下「社会実装 WG」という。）を設置する。

SIP 第1期・第2期の制度を振り返り、有識者の評価を受けた結果、社会実装の促進のため、総合知の観点で、技術開発にとどまらず、事業、制度、社会的受容性、人材といった幅広い視点（社会実装に向けた5つの視点）からの取組が必要、と整理された。このため、SIPでの研究開発テーマに限らず、マッチングファンドも含め関係省庁や産業界の取組を促していくことが重要である。XRLはこのためのコミュニケーションツールとして整備したものであり、関係省庁や産業界との認識共有や連携にあたっての活用を推進する。

また、ガバニングボードでの戦略及び計画の評価において、工程ごとの目標とゴールイメージ（社会実装の姿）が十分具体化されていないとの指摘がある課題もあった。XRLを活用しつつ、研究開発の進捗段階ごとの指標（SIPとしての達成目標だけでなく、関係省庁や産業界の取組についての指標を含む）を明確にする活動も推進する。

社会実装 WG では、有識者から助言を頂きつつ、これらの活動を各課題と情報共有しながら促進を図るものである。

2. WG 概要

(1) 検討事項

- ① 5つの視点での戦略、指標の活用に係る状況確認とフォローアップ
- ② 社会実装に向けたインセンティブ制度設計（マッチングファンド方式を含む）に係る協議、PD会議やGBへの制度提案
- ③ その他、社会実装に向けた戦略に係る課題全般の協議、総合知について

(2) メンバー

- ① サブPDその他の各課題の代表者
- ② 関連するプログラム統括チームの委員
- ③ 関連する有識者 ※数名程度
- ④ 必要に応じてその他の関係者の参加を求めることも可能

(3) 実施頻度（予定）

年3回程度（7月、10月、2月）

3. WGの予定

【第1回：7月】

- ・参加者紹介
- ・WG趣旨説明
- ・社会実装の進捗を多面的に測定する指標検討について（仮）
- ・社会実装分科会での昨年度活動紹介
- ・次回以降に向けての依頼事項
- ・総合知について
- ・意見交換、Q&A（XRLの運用方法、今後のWGの進め方、等）

【第2回：10月（予定）】

- ・産学での成熟度レベル活用事例の紹介、マッチングファンド等インセンティブに係る話題提供（予定）
- ・各課題：戦略及び計画の確認結果ご発表
- ・意見交換、Q&A（戦略及び計画の確認結果、マッチングファンドに係る情報提供、等）

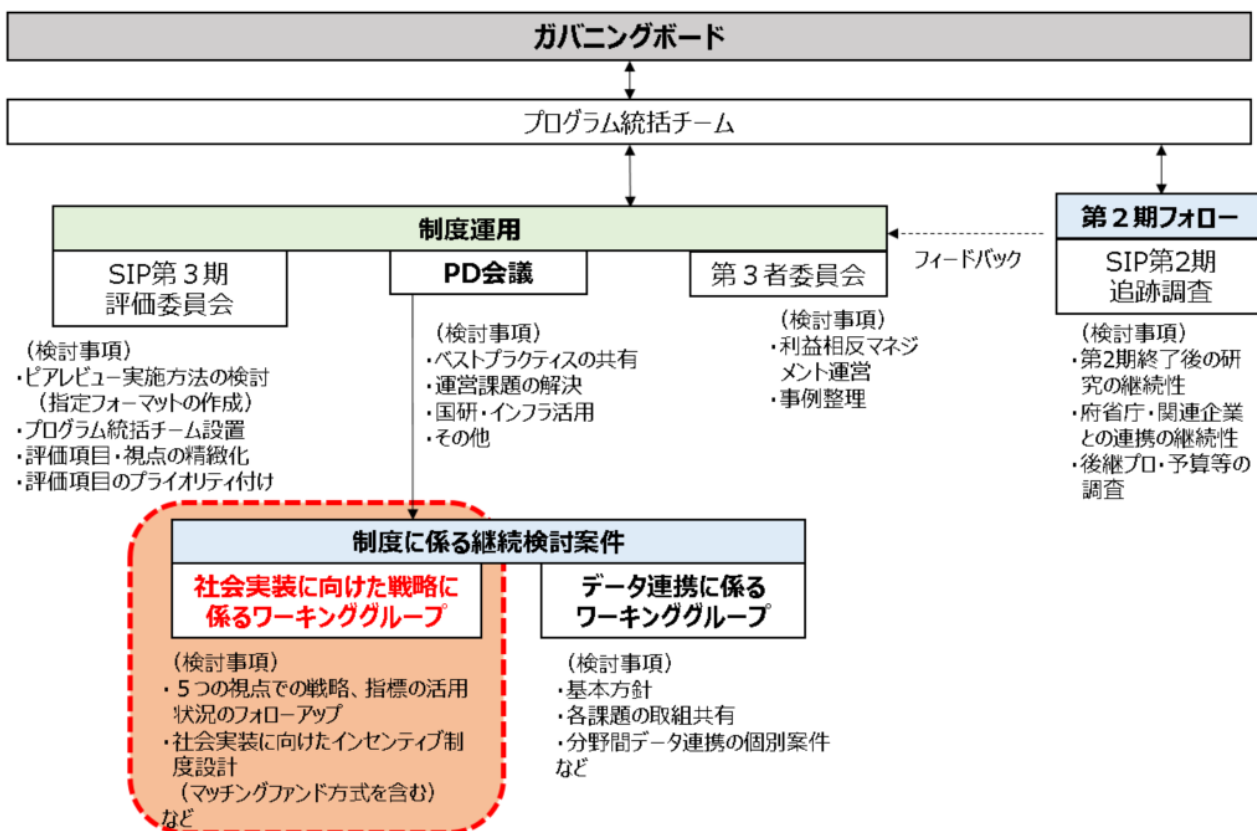
【ヒアリング】

各課題へのヒアリング（5つの視点に基づいた戦略及び計画のマネジメントや関係省庁・産官学連携活動の事例収集）

【第3回：2月（予定）】

- ・産学での成熟度レベル活用事例の紹介（予定）
- ・事務局：5つの視点に基づいた戦略及び計画のマネジメントや関係省庁・産官学連携活動のベストプラクティス共有
- ・各課題：マッチングファンドの検討状況ご発表
- ・意見交換、Q&A（ベストプラクティス、マッチングファンド等）

SIP 第3期制度・課題に係る検討体制



社会実装 WG 構成員名簿

○ プログラム統括チームおよび有識者

(プログラム統括チーム)

栗野 盛光 (座長)	慶應義塾大学 経済学部 教授
島田 啓一郎	ソニーグループ(株) 社友
細田 孝宏	株式会社 JBpress JBpress 編集長

※ガバニングボードメンバーおよびプログラム統括チーム構成員・アドバイザーは参加可能とする。

(敬称略、五十音順)

(有識者)

北岡 康夫	国立大学法人 大阪大学共創機構 機構長補佐 教授
坂田 一郎	国立大学法人 東京大学 総長特別参与 大学院工学系研究科 教授
菅原 弘人	日本電気株式会社 経営企画部門 マネージングディレクター

○ S I P 第 3 期 各課題からの社会実装 WG 代表者

課 題	代表者	所属
1 豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築	南部 哲宏	株式会社 博報堂 ビジネスプロデューサー (SPD)
2 統合型ヘルスケアシステムの構築	渡部 眞也	マニー株式会社取締役(社外) (SPD)
3 包摂的コミュニティプラットフォームの構築	目崎 祐史	セコム IS 研究所長 (SPD)
4 ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築	野城 智也	高知県公立大学法人高知工科大学システム工学群 教授 (SPD)
5 海洋安全保障プラットフォームの構築	松川 良夫	伊藤忠商事株式会社 理事 (SPD)
6 スマートエネルギーマネジメントシステムの構築	池谷 知彦	電力中央研究所 特任役員 (SPD)
7 サークュラーエコノミーシステムの構築	小松 秀樹	プリテス トン ソリューション・探索・化工品事業開発管掌 フェロー (SPD)
8 スマート防災ネットワークの構築	牧 紀男	京都大学 防災研究所 社会防災研究部門 教授/SPD (全体統括補佐及びサブ課題 A 担当)
9 スマートインフラマネジメントシステムの構築	岩波 光保	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 /SPD
10 スマートモビリティプラットフォームの構築	中村 文彦	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 特任教授 (SPD)
11 人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備	神藤 富雄	株式会社 IBLC・顧問 (SPD)
12 バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備	玉城 絵美	H2L 株式会社・代表取締役社長/琉球大学工学部・教授 (SPD)
13 先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進	岡田 俊輔	一般社団法人量子技術による新産業創出協議会 実行委員長 (SPD)
14 マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築	木場 祥介	ユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社代表取締役パートナー (PD)

(敬称略、課題順)